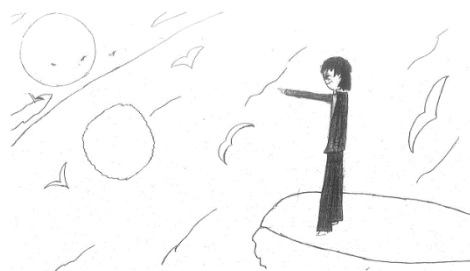


こうちょう おも 校長の念い



ず せいさくしゃ
図 制作者
ぶんげい しょうぶ
文芸・書道部
ねんぶんげい ぶん いん
3年文芸部員

わ かり う と する ち から み つ 力 を 身 に 付 け よ う !

ぜんごうはっこう び ほんじつ がっ き き まつ ねんせい しん ろ そうだんかい ねんせい
前号発行日から本日までに、2学期期末テストや3年生の進路相談会、2年生のSASAや
1、3年生の確認テストが行われました。皆さん自身の念いがなかった結果でしたか。

がっ にちはっこう だい ごう しめ ほんこう ねんまえ だれ かよ がっこう
9月21日発行の第8号にも示しましたが、本校では5年前から、誰もが通いたくなる学校
をつくることをねらいとした、「魅力ある学校づくり」に取り組んでいます。その達成のため
は、「授業がよくわかる」という生徒の割合を増やすことが重要だと考え、毎学期末に調
査をしています。4択で、最も肯定的な「当てはまる」に回答した生徒の割合は、1学期末は
39.1%、2学期末は38.0%とあまり変わりませんでした。

そこで、第11回目の「念い」は「わ かり う と する ち から み つ 力 を 身 に 付 け よ う !」です。課題です。

あるケーキ屋では、チーズケーキ5個売れるごとに、アップルパイが3個売れます。チーズケー
キの売れる数をC、アップルパイの売れる数をAとして、CとAの関係を式で表しなさい。

かいとう ひと もんだい ひ ほんとう うちがわ せき そとがわ せき
解答として、「これを、比の問題だから、 $C:A=5:3$ となります。内側の積は外側の積
と等しいから、 $5A=3C$ です。」と答えただけでは、本当にわかっているのか疑問なのです。
と かた おぼ ひと もんだい うちがわ かず せき そとがわ かず せき
解き方を覚えているだけかもしれません。「なぜ、比の問題は、内側の数の積が外側の数の積
になるのですか」に答えられないと、本当にわかっているとは言えないのです。

ほんとう ひと つぎ せいめい
本当にわかっている人は、次のように説明できるでしょう。

- チーズケーキ1個売れると、アップルパイは $3/5$ 個売れる。
- 従って、チーズケーキC個売れるとアップルパイは $3/5C$ 個売れる。
- これが、アップルパイの数Aなので、 $A=3/5C$ 、 $5A=3C$ です。

つまり、課題がわかる人は、自分自身で「わかるべきこと」を探し出し、解決するのです。
この場合は、「アップルパイの数を求めよ」という問いではないのに、1個売れたときのア
ップルパイの数を求め、チーズケーキの売れた数をかければ求まると考えたのです。

しかし、課題がわからない人は、何も変えてはならず、問題として直接求められているこ
と以外は何も求めてはいけないと思い込んでしまうのです。「正しい求め方」というものに正
しく従って出すこと以外にあり得ないと思っているのです。その結果、「覚えようとする力」
や「思い出そうとする力」のみが活動してしまっているのではないのでしょうか。

このことから、わ かり う と する ち から み つ 力 を 身 に 付 ける ため には、問題文の問いだけではなく、自
分なら何ができるか、どういことがわかりうるかを探し求める気持ちで読み取ってしまし
よう。そして、自分でいろいろと「やってみよう」と試み、「わかっていることを使って、
わからないことを導き出そう」という意識で学んでみましょう。